

# カバヤ食品株式会社 2020年環境レポート



発行:カバヤ食品株式会社  
品質管理部 ISO・OJT推進室

# **1. カバヤ食品株式会社 環境方針**

カバヤ食品株式会社は自然の恵み豊かな環境の中で、多種の菓子生産を行っています。

これらの事業活動が環境に影響を与えていることを深く認識し、以下の方針に基づき環境保全、保護活動を実施します。

- ①当社の事業活動、製品・サービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境マネジメントシステムを構築、実施し、環境汚染の予防などを推進すると共に、環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- ②関連する環境法令、その他の受け入れを決めた要求事項を順守します。
- ③当社の活動、製品、サービスに関し、以下の項目について継続的に改善します。
  - 1)エネルギーの使用削減に努める。
  - 2)天然資源の使用削減に努める。
  - 3)工場から出る廃棄物の削減に努める。
  - 4)地球温暖化防止につながる活動に努める。
- ④以上の項目について目標を設定し、その目標達成に努めます。
  1. 環境方針を組織内の全従業員に周知するように努める。
  2. 環境方針を定期的に見直し、適切性を維持する。

当社では、省エネルギー(電力、LPガス)、温暖化防止(温室効果ガスの削減)、省資源(事務用紙・水)、廃棄物(廃プラスチック・食品廃棄物)削減、廃棄物のリサイクル処理、製品容器包装の環境配慮などを推進する。

## 2. 2020年環境負荷の実績

**入力（製品の製造等に使用）：岡山工場、関東工場**

原料	19,180	ト
材料	5,385	ト

電力	1,710	万kWh
LPガス	1,923	ト

水	159,070	ト
---	---------	---

総合エネルギー (原油換算)	6,914	(kℓ)
-------------------	-------	------

**製品量(生産金額) 14,915 トン(210.2億円)**

**排出物（業務で発生する不要なもの）：岡山工場、関東工場**

廃棄物（合計）	1,380.7	ト
食品廃棄物	537.0	ト
紙類	303.3	ト
汚泥	398.5	ト
金属くず	26.7	ト
廃プラスチック	94.5	ト
その他 (木くず、ガラス等)	20.7	ト

温室効果ガス 大気排出 CO <sub>2</sub>	15,760	ト
-----------------------------------	--------	---

汚水、騒音、なども発生  
⇒汚染予防など環境負荷軽減、  
法規制順守を実施

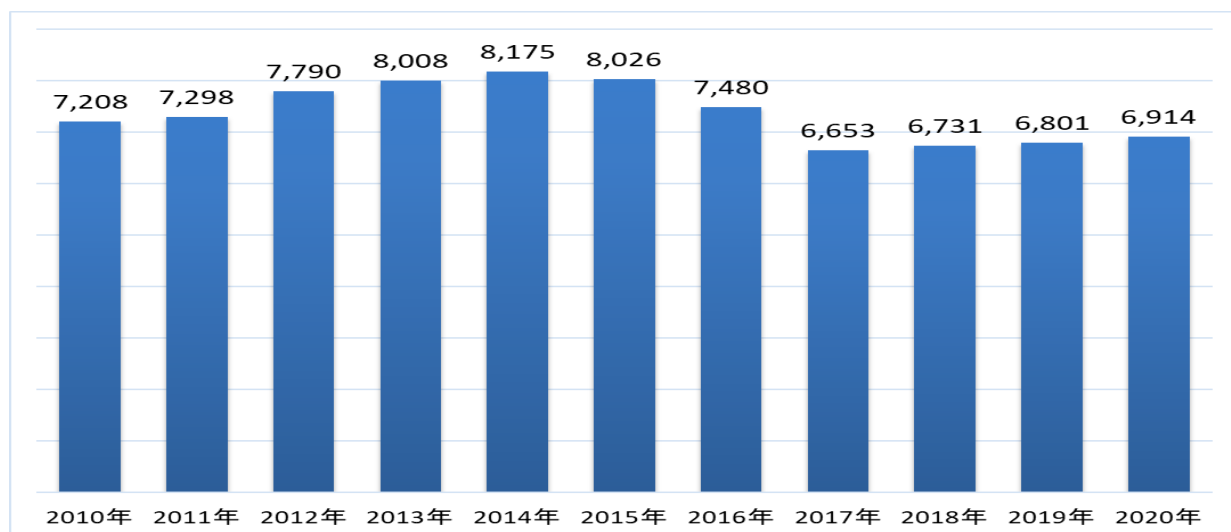
カバヤ食品ではチョコレート、キャンディ、グミ、焼き菓子、清涼菓子、素材菓子、玩具菓子などの製造をしています。製品の製造に使用するエネルギー、原料・資材、水等の節減 及び製造で発生する廃棄物の削減、リサイクルを推進しています。リサイクルは食品廃棄物の肥料化・飼料化、紙類の古紙原料化、プラスチックゴミの燃料化・原料化、金属くずの原料化などを推進しています。また、製品の環境負荷軽減のため、プラスチック容器包装の簡素化に取り組んでいます。社員は省エネルギー、温暖化防止、省資源、廃棄物の削減などの環境負荷軽減のために環境改善、保全、保護活動に積極的に取り組んでいます。

## 3. 環境活動

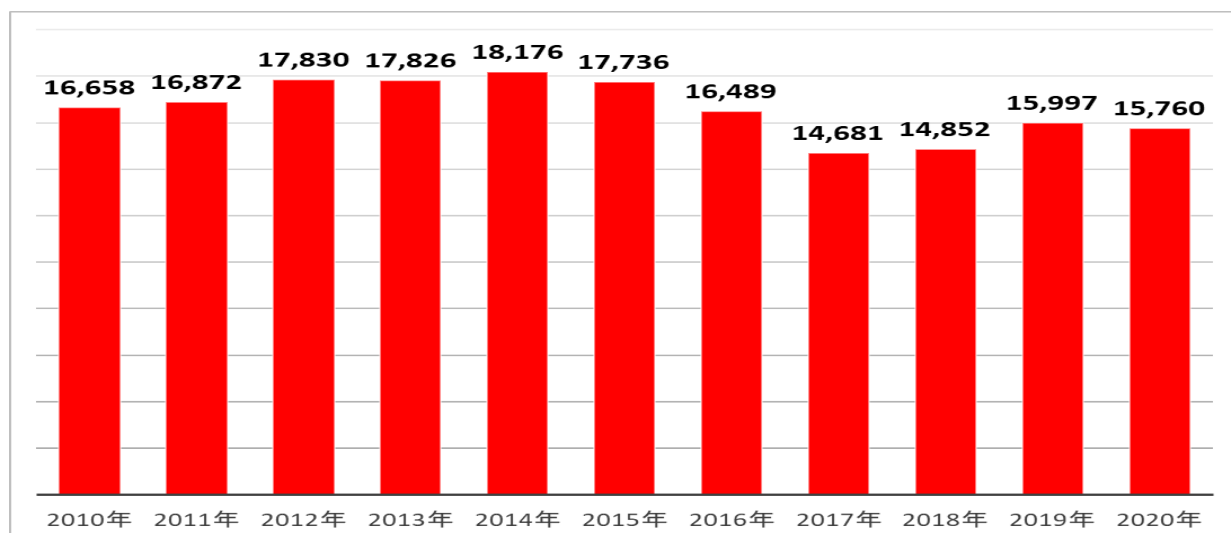
### 3-1 エネルギー及び温室効果ガスの実績

エネルギーは「電力」、「LPガス」を主に使用しています。  
省エネルギー及び温室効果ガス削減対策として省エネ設備への更新(LED照明へ変更等)と「A重油」の使用停止、休憩時間の消灯、空調機(冷房・暖房)の温度管理などを実施しています。  
また、従業員に対して省エネルギー、温室効果ガス削減対策を周知・伝達し、環境活動への意識向上をはかっています。  
年度別の 実績を以下に示します。

#### ●岡山工場・関東工場のエネルギー使用量(原油換算：kℓ) 年度別実績



#### ●岡山工場・関東工場の温室効果ガス排出量(トン) 年度別実績

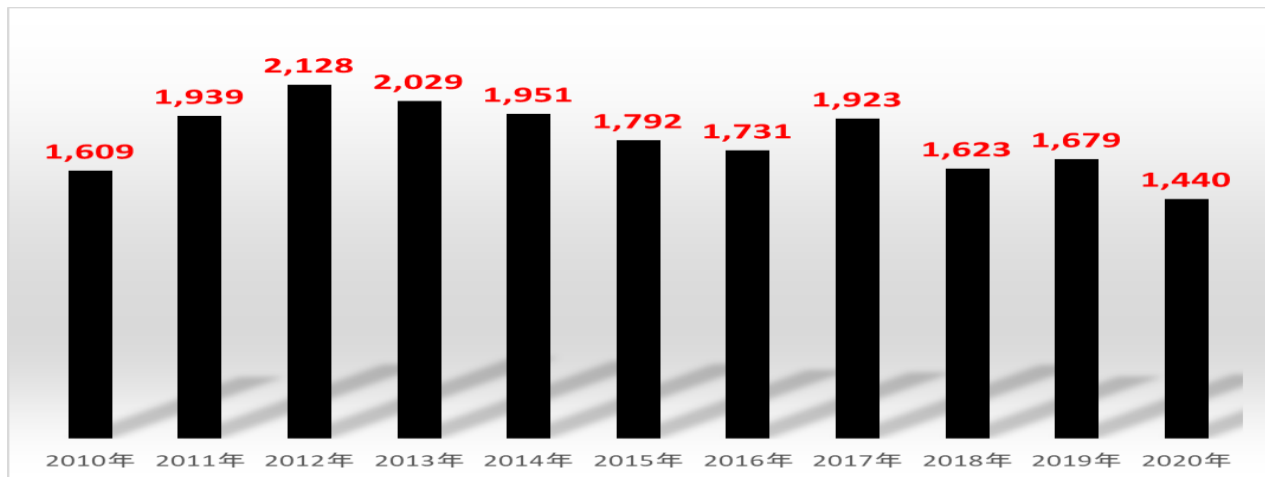


## 3-2 廃棄物の削減とリサイクルの実施

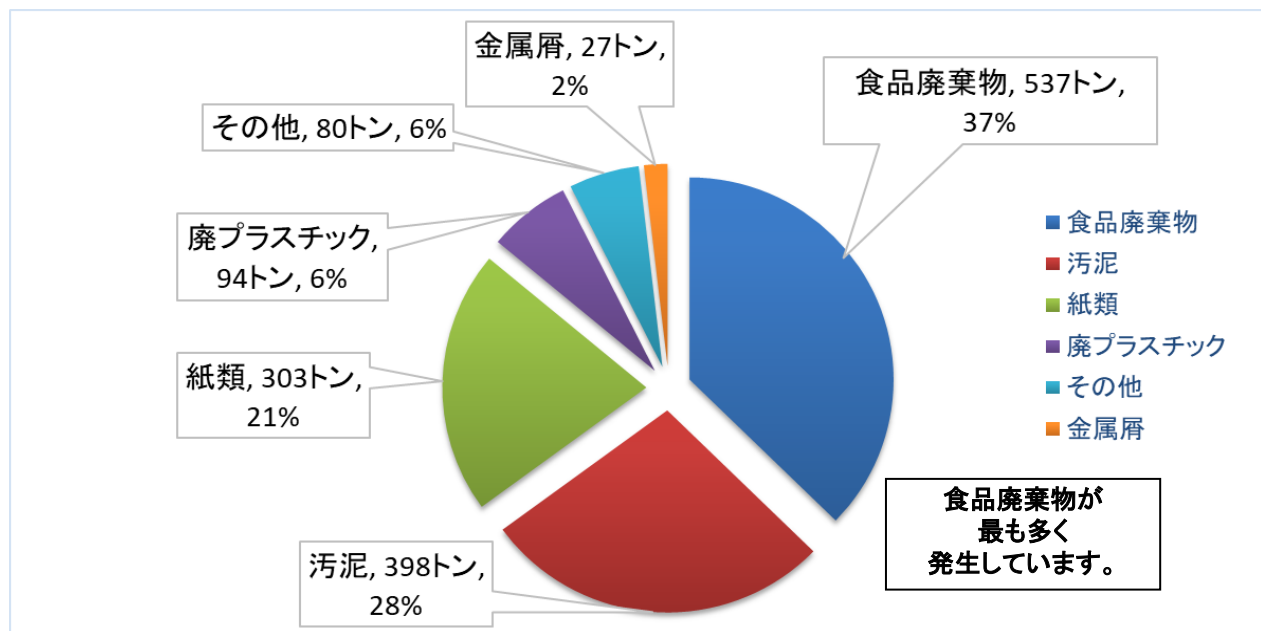
製品の製造・包装作業時の不良品削減などに取り組むことで、食品廃棄物(菓子・原料くず)、廃プラスチック、紙類などの廃棄物の発生抑制を実施しています。

同時に発生した廃棄物は、分別を徹底し、焼却・埋立処理となる廃棄物を削減し、リサイクルを推進して、資源活用、環境負荷の低減を実施しています。発生する廃棄物の年度別発生量は下図の通りです。

### ●岡山工場・関東工場の廃棄物発生量(トン) 年度別実績



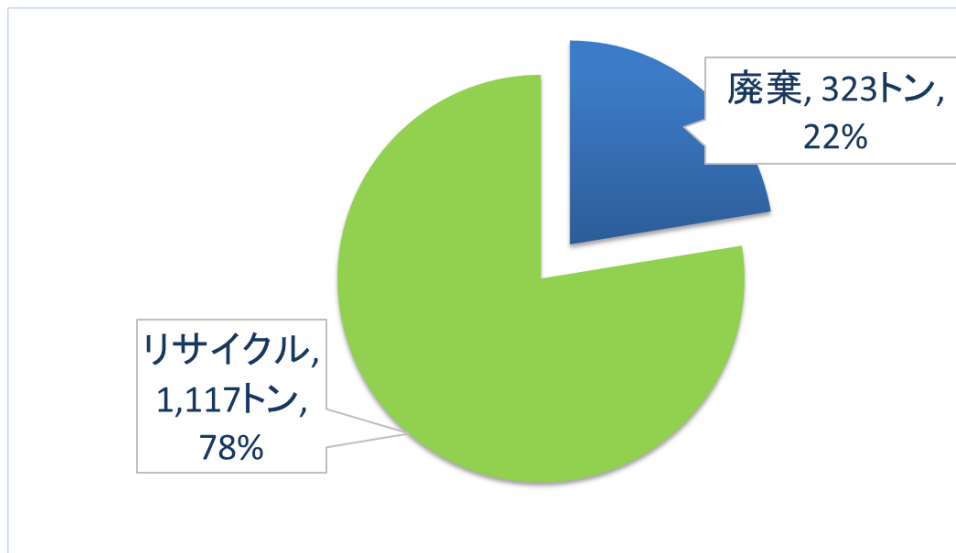
### ●岡山工場・関東工場の2020年度廃棄物種類別発生量(トン) と比率(%)



## ●廃棄物のリサイクル実績(2020年度)

廃棄物は、発生の抑制と同時に発生する場合はリサイクル（資源の有効活用）を推進し、廃棄処分を削減しています。2020年度のリサイクル量とリサイクル率及び廃棄量と廃棄率の実績は下記の通りです。

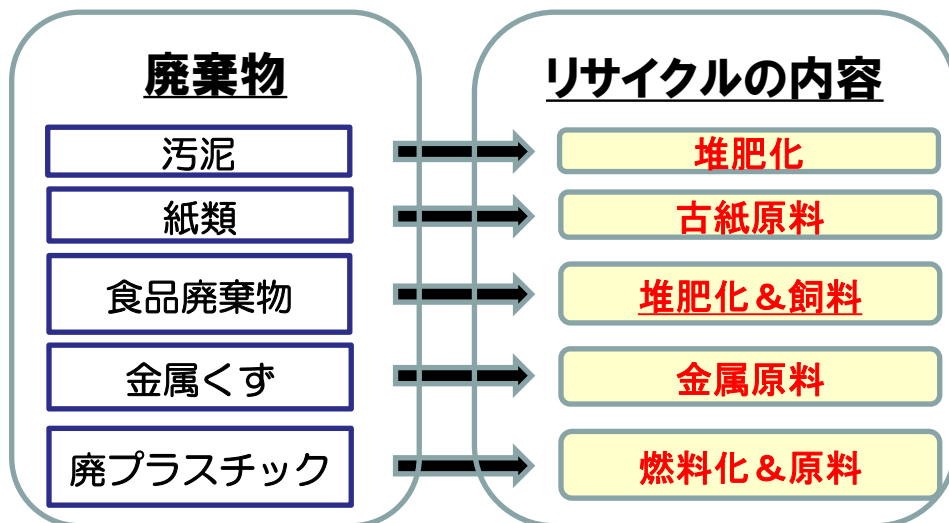
### ●岡山工場・関東工場の2020年度廃棄物処理方法（廃棄処分とリサイクル）別発生量（トン）と比率（％）



「廃棄」は  
焼却、埋立処分

## ●廃棄物のリサイクル内容

廃棄物のリサイクルは外部に委託して下記のように進めています。



その他の廃棄物  
ガラスビン、木くず  
などもリサイクルを  
推進しています。

## 4 製品への環境配慮

製品に使用している容器包装の軽量化を検討し、実施しています。特にプラスチック容器包装の使用量削減は世界的にも重要な課題であり、当社も削減対策に努めています。

### ●プラスチック使用量、廃棄量の削減



幅 80mm → 78mm  
長さ 55mm → 54mm



塩分チャージタブレット個装品フィルムを短縮して、プラスチック使用量を削減しました。